

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

読者の皆様にとりまして、本年がよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

弊社は、臨床検査および食品・環境検査分野を事業ドメインとし、グローバル企業を目指して活動しております。特に、健診（検診）分野、感染症分野の製品開発、販売に注力し、人々の健康と医療に貢献したいと考えております。

昨年は、独自の遺伝子増幅法（LAMP法）を用いた製品として、インフルエンザA（H1N1）pdm検出試薬、市中肺炎起炎菌検査用のマイコプラズマ・ニューモニエ検出試薬、レジオネラ検出試薬を体外診断用医薬品として7月に発売しました。さらに、12月には研究用試薬として単純ヘルペスウイルス検出試薬も発売いたしました。また、FIND（Foundation for Innovative New Diagnostics）と共同で開発を進めていますLAMP法による結核菌群検出試薬については、新興国での評価を実施中であり、国内においては昨年2月に体外診断用医薬品の製造販売承認申請を行いました。さらにマラリア検出試薬等も共同で開発中です。一方、健診分野につきましては便潜血検査試薬・装置の販売を通じてわが国の検診システムを世界に向けて発信しています。また、弊社では大腸がん検診の受診促進、早期発見を啓発する「ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーン」の各種イベントにも協賛しており、9月に開催された「Tokyo健康ウォーク2010」ではおよそ2,000名が参加し、20歳以上の希望者の無料大腸がん検診（便潜血検査）には、800名を超える申し込みがあり受診されました。

また、企業経営の重要課題のひとつとして地球環境保全を位置づけ、環境マネジメントシステムISO14001を昨年5月に取得し環境問題への積極的な取り組みも行っています。

弊社は、今後ともお客様に信頼される製品・サービスを提供し、人々の健康と医療へ貢献すべく活動する所存です。また、公益財団法人黒住医学研究振興財団、NPO法人ブレイブサークル運営委員会への支援、モダンメディアの発刊等を通じて社会貢献も行っています。

なにとぞ本年も弊社への変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

おかげさまで『モダンメディア』は、昨年も滞りなく発行を行い新たな年を迎えることが出来ました。例年本誌のスタートを飾る「新春放談」では、「ワクチンの話題」と題して、感染症の防御に重要な役割を果たしているさまざまなワクチンについて詳しくご解説いただきました。今後の課題、将来の可能性などにも幅広くご議論いただいておりますのでお楽しみいただければ幸いです。

本年も皆様のご厚情に深謝し、充実した誌面作りに一層の努力をさせていただきますので何卒よろしく願い申し上げます。

平成23年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

寺本 哲也